

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業		担当部署	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	高等教育企画課		高等教育企画課長 浅田 和伸		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国が世界規模での人材獲得競争を繰り広げる中、海外の優秀な人材を惹きつけるに至っていない日本の大学の現状を打破するため、国内外の優秀な学生・教員が集い交流できる環境を有する国際化の牽引役となる大学を拠点として創出。平成23年度からは行政刷新会議事業仕分け第3弾の評価結果を受け、「大学の国際化のためのネットワーク形成事業」として、選定大学間や国際化に積極的な大学とのネットワーク化の推進や産業界との連携により、これまでの教育資源・成果の水平展開や内容の充実を図り、一層の大学の国際化を図っている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	留学生受入数、留学生比率や外国人数員比率、海外大学との新たな教育連携プログラムの実施等の達成目標を設定した上で、以下の国際化拠点としての基礎的インフラ整備や実践的な高度専門職業人材育成等を行う大学を、公募により選定し、重点的な財政支援を行う。(定額補助) 留学生受入れの「呼び水」となる英語で学位が取得できるプログラムの開設、留学生の学修・生活支援等のための体制整備、留学生受入れのワンストップサービス海外拠点の整備、海外有力大学との単位互換やダブル・ディグリー等新たな教育連携プログラムの開発、大学間交流協定の拡大、選定大学間等のネットワーク形成、産学連携体制の構築。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	4,083	3,770	2,988	2,611	2,350	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	-5	3	0		
	計	4,083	3,765	2,991	2,611	2,350		
	執行額	4,052	3,587	3,279※1				
	執行率(%)	99.2%	95.3%	109.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)
	選定大学における外国人学生受入数	成果実績	人	22,772	25,835	調査中	50,000	
		達成度	%	94.5	118	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	英語コースの開設数	活動実績 (当初見込み)	コース	7	79 (84)	調査中 (144)	(156)	
		活動実績 (当初見込み)	か所	4	7 (8)	8 (8)	— (8)	
	単位当たりコスト	116(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =23年度執行額(3,259百万円)÷取組件数(28大学)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国際化拠点整備事業費補助金	2,591百万円	2,332百万円	※対象経費(補助単価)の見直しによる減				
	審査・評価等経費	19百万円	18百万円					
	国際化拠点整備事業費補助金事務費	1百万円	1百万円					
	計	2,611百万円	2,350百万円					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年6月18日閣議決定「新成長戦略」において、「質の高い外国人留学生の受入れを30万人」を目指すとしているところ、外国人留学生の受け入れ体制の構築を始めとする、我が国の大学の国際化を推進する本事業への国民のニーズは高く、国において実施すべき優先度の高い事業である。本事業の開始にあたっては、事業のプログラム委員会を公開の形で行う等、広く関係者のニーズの把握に努めてきた。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	採択大学の選定にあたっては、有識者による専門の審査部会を設置。本審査部会において、申請のあった22大学の構想を厳正に審査の上、我が国の国際化の中心となりうる13大学を採択。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業では、構想の策定にあたり、設立する英語コースの数や在籍留学生数等の具体的な達成目標を設定し、毎年度、これらの達成状況を把握する等、着実な事業の実施に努めている。平成23年度には、有識者による専門の評価部会を設置し、事業の中間評価を行い、事業が順調に進展していることを確認。なお、事業終了翌年度の平成26年度には、最終評価を実施予定。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		－
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	・本事業により、13大学で英語コースが106コース開設（平成23年4月現在）され、海外大学共同利用事務所が8カ所で開設されるなど、留学生受入れ等の国際化拠点の整備が進んでいる。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成23年度においては、事業仕分け第3弾の評価結果を踏まえ、これまでの国際化拠点整備事業の在り方を見直し、事業の成果を我が国の大学全体で共有できるように「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」として組み立て直している。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、国内外の優秀な学生・教員が集い交流できる環境を有する国際化の牽引役となる大学を拠点として創出することを目的とした国公私立大学に対する補助事業であり、予算執行状況の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、過去の事業仕分けの評価を踏まえ、予算の縮減や事業内容の組み直しを行ってきたところであるが、平成25年度概算要求においても、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
縮減	これまでの取組内容の執行状況等を踏まえ、対象経費（補助単価）を見直すことにより、概算要求に▲261百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
※1 年度内に同一補助金内で流用増して執行。 ● 事業仕分け第1弾（事業番号3-52国際化拠点整備事業（グローバル30）） ・ WGの評価結果：予算要求の縮減（廃止4名、予算計上見送り2名、予算要求の縮減6名（半額2名、1/3 縮減1名、その他3名（2 割縮減1名、7 割縮減1名、9 割縮減1名））、予算要求通り2名） ・ 国際化拠点整備事業（グローバル30）、大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム及び大学教育・学生支援推進事業については、廃止4名、予算計上見送り2名、予算要求通り2名、予算要求の縮減6名（半額2名、1/3 縮減1名、その他3名）であり、かなりばらつきが大きい。WGとしては、予算要求の縮減と結論する。そもそも大学の本務としてやるべきだという意見、結果・効果が不明だという意見、学生の雇用に関する課題は重要だという指摘も複数あった。 ● 事業仕分け第3弾（事業番号A-27（1）国際化拠点整備事業） ・ WGの評価結果：一旦廃止し、組み立て直す（①国の事業として廃止 7名、②来年度の予算計上は見送り 1名、③予算要求の縮減 3名（a.半額0名、b.1／3程度を縮減 2名、c.その他 1名）、④ 予算要求通り 1名） ・ とりまとめコメント：国際化拠点整備事業については、廃止の評価者7名のコメントを見ると、趣旨・目的はいいのだが今のやり方ではだめだということで、一旦組み立て直すとのことで廃止という意見が複数あった。予算要求通りという評価者も、使途自由化を要件に予算要求通りとなっている。評価者全体の大方の意見は、この大学の国際化拠点にするという大きな目標・目的については、今のやり方ではつながらないとは思えないということ意味で、一旦白紙で、どういうやり方をしたら国際拠点を作っていくのか組み立て直して欲しいということを結論としたい。 ● 事業関連HP http://www.uni.international.mext.go.jp/				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0177	平成23年行政事業レビュー	0155	

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

文部科学省
3,279百万円

職員旅費 0.3百万円を含む

「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」プログラム委員会」の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、採択大学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【公募・補助】

A.大学(全28件)
総額:3,259百万円

【補助】

B.(独)日本学術振興会
総額:19百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

大学において、英語で学位が取得できるコースの設置、外国人教員の配置、外国人学生受入れのための海外広報拠点の整備、事務体制の整備等、我が国を代表する国際化拠点としての総合的な体制整備等を実施。

「国際化拠点整備事業プログラム委員会」を設置し、本補助金事業の選定に係る審査、各大学の取り組みの成果に係る評価等の業務を実施。

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金 額が支出されて いる者について 記載する。費目 と使途の双方で 実情が分かるよ うに記載）	A.筑波大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	外国人教員(生命環境学際プログラム、 社会国際学教育プログラム)雇用経費等	219			
	事業推進費	英語によるスプリングスクール案内パンフレット 印刷経費、留学説明会会場借料等	65			
	旅費	国内旅費(会議出席、講師招聘等)、 外国旅費(留学説明会、現地入試等)	57			
	設備備品費	テレビ会議システム(ホーチミン事務 所、中央アジア事務所)	6			
	計		347	計		0
	B. (独) 日本学術振興会			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	プログラム委員会謝金、プログラム担 当職員雇用経費等	14			
	旅費	国内旅費(プログラム委員会、探採大 学現地調査等)	3			
	事業推進費	プログラム委員会会場借料、プログラ ム委員会会議記録作成委託費等	3			
		※表示単位未満四捨五入の関係で積 み上げと合計は一致しない。				
	計		19	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	筑波大学	筑波大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	347	-	-
2	東京大学	東京大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	339	-	-
3	九州大学	九州大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	295	-	-
4	京都大学	京都大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	278	-	-
5	早稲田大学	早稲田大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	262	-	-
6	名古屋大学	名古屋大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	260	-	-
7	東北大学	東北大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	252	-	-
8	立命館大学	立命館大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	238	-	-
9	同志社大学	同志社大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	231	-	-
10	大阪大学	大阪大学 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	211	-	-

B.大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業の審査・評価

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業の審査・評価	19	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					